

## 2-7. 今年度の成果と今後の課題

令和元年度調査で挙げられていた課題と方向性について、本調査における成果と今後の課題を以下に再整理する。

項目（令和元年度調査）		令和元年度調査で挙げられていた課題・方向性	令和2年度の取組み方針	本調査における成果	今後の課題	
地権者に係る事項	若手の会	定例会	・若手の会の将来あるべき姿の継続した検討 ・若手の会を次世代に繋いでいくための取組みの検討	・若手の会の強化を目指し、若い世代の人材育成を行う	・若手の会の将来あるべき姿について継続して議論を進め、課題解決に向けた若手の会会員の自主的な取組みに展開させる事ができた	・既存会員の掘り起しを行い、定例会の参加人数を増やすと共に、次世代に繋いでいくための取組みを継続して検討を進めていく必要がある
		—	・地主会との連携強化	—	—	・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて直接的な連携や活動は行わなかったが、今後も引き続き地主会との連携を強化して意向醸成活動を進めていく必要がある
		—	・関係機関に対する若手の会の検討内容の発信	・有識者検討会議に対して、会としての考えを取りまとめ発信する	・有識者検討会議に対して発信する資料として、若手の会の考える「振興拠点ゾーンの将来像」について会としての考えを取りまとめる事ができた	・地権者の意向等を反映した跡地利用計画となるように、今後も引き続き会としての考えを取りまとめて発信していく必要がある
	—	—	・対外的な場での活用を想定した、若手の会パンフレットを最新の検討内容で更新する	・若手の会の最新検討内容を周知するツールとして、パンフレットを更新した	・更なる有効なパンフレット活用手段を検討し、若手の会の活動内容周知に繋げていく必要がある	
一般地権者	字別意見交換会	・より多くの地権者に対し、跡地利用計画に対する興味・関心を喚起し、意見等を引き出す ・新たな参加者を呼び込むための工夫 ・継続した参加を促すための工夫	・地主会と若手の会の連携強化を図る ・地権者に対し、中間取りまとめ以降の検討内容に関する情報提供と知識の習得、跡地利用計画に対する興味・関心を促す	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、紙面及びwebによるアンケート形式で意見を収集し、これまでの対話形式と比較して多くの意見を収集する事ができた	・今後も継続して意見交換会を開催する必要があるが、対話形式とアンケート形式、双方の長所を活かした意見交換会のあり方について今後検討し、より多くの地権者に対する周知と意見収集が可能なように取組む必要がある ・開催方法や市外・県外在住者からの意見収集方法については引き続き検討する必要がある	
市民に係る事項	NBミーティング	定例会	・今後の活動の活性化を図るために、既存会員の参加促進を図る ・対外的な活動を実施する際の、役割分担の明確化 ・会員の意見が反映された年間活動計画の立案 ・継続して地域の団体と連携を取り、跡地利用計画へ反映すべき点をNBミーティングで取りまとめる ・「まち未来だより」で発信したNBミーティングの取組みや考えに対する意見の回収方法 ・若い世代の興味関心を引き出すきっかけづくり	・検討と取りまとめに要する情報収集、意見集約の機会を支援する ・NBミーティング定例会への参加者の増加や他組織との連携に繋げ組織強化を図るため、対外的な活動を通してまちづくりに関する活動の輪を広げる ・市民に対し、跡地利用への興味関心を高めるため情報発信を行う	・新規会員の加入による積極的な議論への参加、自主的な提案、議論の活性化につながった ・「まちづくりカフェ」開催にかかる調整や当日の進行など会員が自ら行動し、自主性の向上に繋がった ・滞りなくオンライン会議を開催する事ができ、議題についても参加者が定例会最後に決める事により、参加者の興味の掘り起しに繋がる会議運営ができた	・定例会やまち歩きに参加する会員が固定化されているため、更なる参加者を増やすための取組みを検討する必要がある
		まち歩き	・継続して地域の団体と連携を取り、跡地利用計画へ反映すべき点をNBミーティングで取りまとめる	・NBミーティング定例会への参加者の増加や他組織との連携に繋げ組織強化を図るため、対外的な活動を通してまちづくりに関する活動の輪を広げる ・市民に対し、跡地利用への興味関心を高めるため情報発信を行う	・大謝名・上大謝名地区から多くの意見を収集できた ・新規会員の加入に繋がった	・跡地利用計画自体に対する意見を収集するため、跡地利用計画の内容がイメージしやすいような資料の見せ方など工夫する必要がある ・継続して地域との継続した連携を取り、地域の課題や要望等の意見集約を図り、跡地利用計画へ反映すべき点をNBミーティングとして取りまとめる必要がある
	一般市民	—	・過去の取組みや会議で挙げた企画の検討 ・イベントに関心を惹く工夫の検討 ・イベント時における、一般市民への伝わりやすい説明や資料の検討 ・学校とNBミーティングの連携による人材育成 ・子どもたちの跡地利用に対する関心の定着	—	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、イベントは中止 ・将来のまちづくりを担う児童・生徒に向けた意向醸成活動のきっかけづくりとなる、出前講座PVを制作した	・イベントに関心を惹く工夫の検討 ・イベント時における、一般市民への伝わりやすい説明や資料の検討 ・開催するにあたって、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、対面形式以外での手法を検討し、学校側と調整する必要がある ・学校側と早い時期にカリキュラム導入への調整を行い、確実な実施に繋げる必要がある

項目（令和元年度調査）		令和元年度調査で挙げられていた課題・方向性	令和2年度の取組み方針	本調査における成果	今後の課題
係る事項 地権者・市民に	まちづくり講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者増に向けた工夫</li> <li>・興味を持つ講座内容</li> <li>・講座修了後も受講者がまちづくりに関わる事のできる仕組みの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者、市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べ、考える事のできる場をつくる</li> <li>・跡地利用のまちづくりにおいて大切な事は何かを学び、まちづくりへの参画を促すための場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エリア価値を高めるまちづくり」をテーマとした講座開催の企画が完成した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の周知方法については改めて検討し、より多くの地権者、市民に講座を視聴してもらうように工夫する必要がある</li> </ul>
	情報発信 ふるさとの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載内容について地権者へ問いかけ、内容の更なるブラッシュアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地利用に関する行政・若手の会の取組み、地権者の意見を分かりやすく発信する事ができた</li> <li>・二次元コードを記載する事で、紙面構成及び内容の改善点を把握できるようにした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの地権者に見ていただけるようにする必要がある</li> </ul>
評価及び 検証	まち未来だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が跡地利用のまちづくりに興味・関心を持つように、内容の更なるブラッシュアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地利用に関する行政・NB ミーティングの取組みを分かりやすく発信する事ができた</li> <li>・二次元コードを記載する事で、紙面構成及び内容の改善点を把握できるようにした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの市民に見ていただけるようにする必要がある</li> </ul>
	懇話会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成活動に係る継続した議論の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成活動の方向性等について継続した議論を実施する</li> <li>・若手の会、NB ミーティング両組織が活動を進めていく中での課題等について検討し情報共有を図ると共に、各々の組織にフィードバックさせる事により、着実な合意形成活動に繋げていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の取組みの方向性や考え方について意見を伺い、若手の会及び NB ミーティングにフィードバックできた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成活動に係る継続した議論を実施していく必要がある</li> </ul>